

福井大学学術協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（1月分）

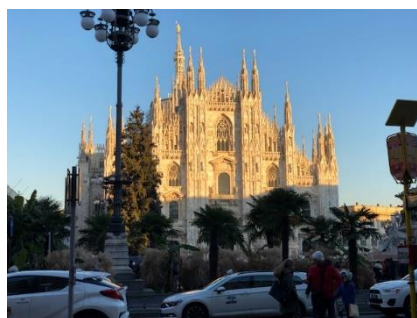
留学先大学：ナポリ東洋大学
氏名：村中陽香

Ciao tutti! みなさんこんにちは、ナポリ東洋大学に留学している村中です。まだまだ長いと思っていた留學生活もいよいよ残すところあと一ヶ月となり、本当に1日1日があっという間に過ぎていると実感しています。1月に行われると思っていたアメリカ文学の試験は2月の初めだということがわかったので、1月は学校のことについてはあまりお伝えすることがなさそうです。1月は、2週目だけテスト前最後の授業があり、そのあとはテストに向けて各自勉強するテスト期間に入ります。イタリアでは基本的に筆記試験と口頭試験の両方を受けて合否が決まるので、日本にはなかなかないシステムで受ける前からかなり緊張しています。テストを受ける人は事前にオンラインで予約をする必要があるため、忘れないように気をつけていないとテストが受けられなくなってしまうらしいです。履修登録というものがいないため、テスト前の予約が必須になるそうです。

テストに関しては2月に受けて次回お伝えする予定なので、今月は年始に訪れたミラノについてなど、1月の私の生活についてお伝えしようと思います！

【ミラノについて】

年始にホームメイトの一人と一緒にミラノに行きました。ホームメイトはミラノ出身なので、いろいろな場所を案内してもらったり実家に泊めてくれたりして、非常に充実した旅になりました。ミラノはナポリよりも北に位置するため、かなり寒かったです。ドゥオーモ（大聖堂）は圧巻の迫力で、たくさんの観光客が並んでいました。ミラノのガレリアは世界的にも有名で、様々なハイブランドが並んでいました。ナポリのガレリアはピッツェリアやマクドナルドなどが入っていて高級店はほとんどないので、違いが面白かったです。また、有名なスワロフスキーのクリスマスツリーも見ることが出来て、とてもきれいでした。ナポリに比べて、ミラノには大きなショッピングモールがあったりブランド店が並んでいたり、物価もナポリよりもかなり高かったりと、同じ国とは思えない程の違いが見られました。街も静かで、道路も石畳が少ないので非常に歩きやすかった印象を持ちました。実際にミラノに住んでいた人に案内してもらうことができ、とても楽しい旅になりました！まだ他の街には行けていないので2月にいけたらなと考えています。（右の写真はミラノのドゥオーモです）



【1月6日の祝日】

イタリアでは1月6日が祝日に制定されていて、イタリア人にとっては大事な日なのだそうです。この日はエピファニアと呼ばれ、一年で最も大切な行事とされているクリスマスが終わる日です。基本的にイタリア内では1月を過ぎても6日まではクリスマスツリーが飾られていたりイルミネーションで装飾されたりしていて、6日になるとみんな一斉に片付け始めます。1月5日の夜中から6日にかけて、ベファーナと呼ばれる魔女のような老婆が子どもたちの枕元に靴下を置いて去るという伝統があり、よい子にはお菓子を、悪い子には炭を入れるそうです。イタリアではサンタクロースの前からベファーナの伝統があるらしく、私のホームメイトたちも年明けには実家から靴下に入ったお菓子を持って帰ってきていました。イタリアに来るまでこの伝統を知らなかったのですが、クリスマスが過ぎて年明け後になってもツリーが片付けられないのが疑問でしたが、1月6日のエピファニアがイタリア人にとって大切な祝日と知って納得しました。

【2月は…】

2月は期末試験があり、いよいよ帰国となるので忙しい一ヶ月になりそうです。まだ行けていないイタリアの都市にも行きたいと考えているので、テストのことやイタリア内の見所について、また、ナポリの美味しい食べ物についても最後にお伝えしたいと思っています！



左はイタリア名物のひとつであるジェラートです。寒くても食べられちゃうくらい美味しいです…！ちなみにわたしのおすすめはピスタチオとミックスベリーです(^o^)イタリアに来る際は是非！